



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp

平成27年 1月1日 発行

平山学長新春あいさつ 2面

2学部の「知」を集積 地域の中核になろう

「福祉・介護・健康フェア」で2展示が大好評 3面

就職活動の「短期決戦」に万全の備え 5面

「経営情報学会」に全国から77件の報告 7面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています!投稿方法は nuischannel@nuis.ac.jp までお問い合わせください。

PHOTO:山下 功(情報文化学部准教授)

CONTENTS

2・3面

平山学長に叙勲・旭日重光章
ネットで手軽に栄養計算のDB
遠隔地のペットロボと会話交信
湧源・編集後記に代えて

4・5面

韓国・慶熙大でインターンシップ
研究テーマ多彩・卒論中間発表会
紅翔祭・模擬店、イベント過去最多
企業懇談会で291社と情報交換
平成27年度一般入試概要とポイント

6・7面

教員海外研修便り
ズームアップ研究室
社会インフラと
情報システム再考
教員の活動

8面

卒業生の便り
藤沢周さんを招き特別授業
よしもとばななさん記念トーク
(エクステンションセンター10周年)



NUIS公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/nuis.face>



NUISスクールアプリ

iPhone・iPad・Androidスマートフォン・タブレット向け
App StoreまたはGoogle Playストアから新潟国際情報大学で検索
アプリをダウンロードしてご利用ください。

LINE@

@nuis-line3111

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録

勇気を持ち さらなる発展のスタートに



学長 平山 征夫

学生諸君、教職員、父母の皆さま新年おめでとうございます。新しい年を健やかに迎えたいと思います。どうぞ本年もよろしく願います。

昨年は天候不順とそれに伴う災害が各地で発生した年でしたが、本学にとりましては21年目の新たなスタートを切った年でした。それは2学部への移行という本学建学以来の大きな組織改編のスタートでもありました。建学以来の悲願でした2学部制の達成により、本学の新しい歴史が始まったといえるでしょう。そして20周年の最後の記念事業として、学生会館と食堂の拡張・リニューアルが完成し、後期から利用開始されるキャンパスライフが一段と充実するなど有意義な年となりました。OBのみずき会から学生会館の前にお祝いとして記念に時計塔の寄贈を頂きました。この

2学部の「知」を集積 地域の中核になろう

紙面を借りて御礼申し上げたいと思います。

学生会館が部活の活性化をはじめ学生生活の充実に大いに貢献することを期待しております。とくに学長としましては学生諸君による自主管理・運営をお願いしたこともあり、皆さんの自主運営により有意義な活用がなされることを強く願っています。

本年は2学部制になって2年目となります。新体制の定着・効果発揮が望まれる年になります。国際化と情報化という時代要請に的確に対応できる人材育成という建学の目的をより達成できますよう、各学部の専門性をいっそう高めるとともに、より人間性に富んだ人格形成を目指した教育内容の充実を図っていききたいと思っております。そのため教職員一体となってこの目的に向かって力を合わせていきたいと思っております。どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。

しかし、大学を取り巻く環境には一段と厳しいものがあります。少子化や地方経済の低迷が進むなど客観情勢の悪化に加えて、国の教育予算の配分が実績主義になってますうえ、大学運営面でのさらなる改革要請が強まっています。大学が自らの理

学生会館の活用 学生の自主管理に期待

念により魅力と特徴のある大学づくりを真剣にすることが求められています。本学が21年の歴史を踏まえて、この地で「知」の中核的存在としてその集積をどう発揮できるかもう一度考えてみる一年にしようと思っております。皆さんからも大いに知恵を出してください。あらためて大学が持っている「知」の資産を生かして、さらに地域になくしてはならない大学を目指したいと思っております。

昨年夏、私の尊敬する経済学者の宇沢弘文さんが亡くなられました。宇沢先生は「共通社会資本」という概念を主張され、地域にとつて必要な資本として道路、病院などと並べて教育も挙げておられます。本学のような地方の私大はまさにそれにあたると思います。当然そこには「地域が必要とする人材は地域で育てよう」という社会資本としての役割があるからです。本学がその役割を真に果たす共通社会資本にふさわしい大学になるには国の要請にかかわらず、自らが勇気をもって20年目に次ぐさらなる改革に取り組む必要があると考えています。そんな年にしたいと思っておりますので、皆さん一緒に力を合わせましょう。

平山学長に叙勲・旭日重光章

県政と人材育成に功績

平成26年度の秋の叙勲で平山征夫学長が旭日重光章を受章されました。県政の運営に奔走し、地域貢献と若者の人材育成に情熱を傾けるなど顕著な功績が評価されています。

平山学長は柏崎市出身で、横浜国立大から日本銀行に。新潟、仙台支社長を経て、佐川急便事件で知事が辞任し混乱に陥っていた県政の信頼回復を託されて平成4年に県知事に就き3期12年務めました。政治不信を回復し、相次ぐ災害、柏崎刈羽原発のトラブル隠しなど県政の難題に全力で対処、また本学開学にも尽力されました。知事を勇退後は県土を担う人材育成

「主体的に学べ」と
学生たちを激励

に情熱を注ぎ、長岡技科大や事業創造大学院大学で「地域経営概論」「東アジア経済論」などを授業、平成20年4月に本学学長に迎えられました。

本学でも「地域経営」の講義を持つなどして、学生とは自然体で親しく接し、校歌と一緒に歌い、卒業生全員一人ひとりに握手して勇気と希望を持ち続けようと門出を祝福しています。学生たちには、主体的に学べ、考える力をつけようなどと常に語りかけ、人間的豊かな人格を形成し国際化・情報化社会で地域の中核の人材になれと激励しています。

「福祉・介護・健康フェア2014」で大好評

ネットで手軽に栄養計算のDB

増野さん(2002年度卒)の卒論システムが基本

地域での支え合いを考える「福祉・介護・健康フェア2014」(県社会福祉協議会など主催)が11月3日、朱鷺メッセで開催され「健康ゾーン」に、インターネットで手軽に栄養計算ができる多機能データベース(DB)を紹介するブースを出展し大きな関心呼びました。

2002年度卒業した増野里江子さん(現ソネット)が、ゼミの卒業論文の一環として作成したシステムが基本となっているDBです。スマートフォンなどでネットに接続できれば、摂取した料理の重量を入力するだけでカロリーや塩分など51成分の摂取量が計算できます。科のない環境でも手軽に計算できる単位入力機能も利用可能です。

1日100セッションを超えるアクセス利用がありますが、利用者は東京や大阪などがほとんどで、新潟

からのアクセスは1.4%程度。新潟日報の紙面でも取り上げられた(10月31日)こともあり、当日は記事を読んだ人たちからも熱心な質問を受けました。普段何げなく使用しているIT関連用語が、学外からのDB利用にあたってハードルになっていたことにも気づかされました。

卒業生の皆さんも健康が気になる年代にさしかかっている人が増えていると思います。自分の食生活を把握することにより生活習慣病などの予防にも役立つの

で利用してみてください。
①栄養計算 単位選択方式
②栄養計算 (g入力方式)
③栄養計算 (料理名)
④栄養成分検索といった4種類の検索が可能です。DBのアドレスは以下のとおりです。

(情報システム学科・教授 高木 義和)

<http://www.nuis.ac.jp/~takagi/sql/masuno/eiyou.html>



「福祉・介護・健康フェア2014」では、河原研究室もブース展示を行い、ふれあいステージで講演も行いました。どちらにも「ロボットによる

遠隔地のペットロボットと会話交信

遠隔地コミュニケーション、手話学習ソフト、視覚シミュレーション」という内容で、卒業研究で行った中から福祉や介護に関するテーマの紹介を行いました。

「ロボットによる遠隔地コミュニケーション」は、遠くの家にあるペット型ロボット(アイボ)を置いておき、自宅からウェブページを通して命令を送信することで、メッセージ送信や写真撮影ができるシステムを構築したものです。かわいらしいアイボの動作が

子どもからお年寄りまで大人気でした。

「手話学習ソフト」はコンピュータグラフィック(CG)を用いて手話のアニメーションを作成したものです。実際に手話を使用している方々から感想やエールをいただけるなど、貴重な体験ができました。

「視覚シミュレーション」は

(情報システム学科・講師 河原 和好)



CGのアニメで手話学習ソフト

視覚シミュレーションで弱者支援

湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員 西山 茂

白鳥の季節である。みずき野でも朝な夕なに白鳥の大小の群れが空を行くのを見、独特の鳴き声を耳にする。私は高校を卒業するまで新潟の海沿いの街で育った。しかし、子どもの私には白鳥は身近ではなかった。私の白鳥に対する理解は、飄湖に多数飛来し越冬することくらいであった。白鳥を間近で見たのは、家人が一度その飄湖に連れて行ってくれたときだけだろうと思う。7年ほど前に新潟に戻ってきて、白鳥に対する認識が大きく変わった。驚いたことに白鳥が新潟のあちこちにいるのである。あちこちの湯(湯がこれほどあるということも子どものころは知らなかった)に白鳥が飛来し、田んぼで落穂や二番穂を餌としてついばんでいるなどとは思ってもみなかったことであつた。前職時代、冬場に車で出張した折、田んぼの中の白いもの(そう、物に見えた)を見て、思わず「あれはなんですか」と尋ねてしまった。白鳥が餌をついばむ姿だと説明されて、新潟出身だと公言していた手前、少し恥ずかしい思いをしたことを覚えていて、言いつけをするようであるが、私の白鳥に対する認識の低さは私の不勉強ということもあるが、交通手段の影響も大きい。私の子どもたちの移動手段といえば、バスか電車(汽車)、自転車であつた。自家用車はもちろんバイクですら多くの家庭は持っていない。その時代、子どもが白鳥を見て認識を広めるといふのは決して容易ではない。良し悪しは別として、たつた50年弱で時代は大きく変わったと思う。新潟は観光資源の利用が下手である。雪の少ない新潟市域では白鳥も冬場の良質な観光資源である。本学を卒業後、観光分野に進む学生も大勢いる。彼らが飄湖を超える白鳥の観光資源利用に取り組んでくれたらと思う。

情報文化学科恒例の卒業論文中間発表会が11月1日、みずき野本校で開催されました。この発表会は、4年生が学生生活の集大成として、それぞれが関心のある研究テーマを見つけ、取り組んだ成果を発表し、所属するゼミ以外の学生、教員、地域の皆さんから意見、質問、アドバイスを受けることで、よりレベルの高い論文作成につながることを目的です。また自分の研究テーマとまったく異なる研究を聞き、啓発を受けたり与えたりして、お互いに刺激し合う

卒論中間発表会 多彩な研究テーマを披露

ことができる場でもあります。発表会を行うに当たって事前準備、広告、運営と3年生の実行委員が中心となつて準備してきました。私は実行委員長として対応させていただきました。当日は、目立った問題も発生せず、順調に進行しました。実行委員も日頃のゼミでの司会の成果が発揮されているようです。中盤に差し掛かるにつれ発表会の雰囲気も全体に盛り上がり、私もいくつかの発表を聞かせていただきました。学生の関心が高い恋愛

実行委員長 中山大輔（情報文化学科3年）

関連、戦争と平和、錦鯉から見る世界、デイズニープリンセスから見る女性像など、その他にも多種多様な研究テーマがあり、できることなら全ての発表会場を回りたい思いでした。私も早く研究テーマを決めて活動を始めたと思います。またある実行委員は、来年の自分の姿を思い巡らせて、質疑応答の討論の記録を取り熱心に運営を行っていました。1年生の参加も見られました。来年はさらに多くの参加者が来てくれることを祈っております。

韓国・慶熙大学でインターンシップ

情報文化学科3年

保志野 里菜

韓国・ソウルにある慶熙大学に、9月1日から約3週間の日程で行ってきました。このインターンシップに参加した目的は韓国語を上達させることでしたが、親元を離れての生活も海外に行くのも初めてだった私にとつて、異国の地で一人生活しているのかどうか不安でした。

そこでの生活はとてつもない忙しさを覚えました。毎朝、韓国語の授業をお昼まで受け、週1・2回の文化体験授業や現地学修、トウミ（現地の学生）との会話練習などをしてきました。授業の合間を縫って、新しくできた友人たちと一緒に遊ぶことも多くなりました。当然ですが朝から夜寝るまで韓国



前列左が保志野さん

語を使う生活はとてつもない忙しさを覚えました。毎朝、韓国語の授業をお昼まで受け、週1・2回の文化体験授業や現地学修、トウミ（現地の学生）との会話練習などをしてきました。授業の合間を縫って、新しくできた友人たちと一緒に遊ぶことも多くなりました。当然ですが朝から夜寝るまで韓国

見るもの全てが輝いてきた

紅翔祭を終えて

実行委員長 新村 蓮
（情報システム学科2年）



模擬店・イベントが過去最高に

第21回紅翔祭（10月11、12日）は快晴に恵まれ、学生はもちろん子どもたちからご年配の方々まで、多くの来場者であふれ返りました。今年の紅翔祭は例年と比べ、模擬店・イベント数が過去最高数となり、大きな盛り上がりを見せました。今年も「西区大農業まつり」とのコラボを実施。泥付き大根3000本を完売するなど、大変な賑わいでした。また、父母会・みずき会のご後援により開催した文化講演会では、某TV番組で一躍有名となった弁護士・住田裕子氏をお招きし、出会ったさまざまな人の体験談を交えながら、これからのように生きていくべきなのかを講演していただきました。お笑いライブでは今年はバックスクリーンの3組。他にもクラッチさんとポテさんの大道芸や、学内のアカペラサークルと社会人団体とのコラボ、本学卒業生はこびーさんの音楽ライブなど、多くのイベントが多くなりました。失敗したり挫折しかけたりしながらも、団体代表者や実行委員の協力で祭を成功させることができました。協力してくれた方々に囲まれていたからこそ、私は諦めずに頑張れたのだと思います。ありがとうございました。

小澤治子先生が急逝

学生会館で「お別れ会」開く（12月10日）



10月上旬に体調を崩され新潟大学病院に入院、加療されていた国際文化学科教授の小澤治子先生が、12月1日午前10時30分ご逝去されました（享年58歳）。小沢先生は、上智大学

年のロシア革命、また、第2次世界大戦、さらにはペレストロイカからソ連解体にいたる時期に関心をもち、研究され、本学での担当科目は国際政治学、国際政治史、日口関係論などでした。ご親族のご意向、また故人のご遺志もあり、新渇でのお通夜、告別式は執り行わないこととなりました。本学では先生の長年のご活躍と明るく温和な人柄を偲び「お別れ会」を12月10日に学生会館で行いました。ご冥福をお祈りいたします。

「短期決戦」に備え早めに対処!!

大学生の就職活動の環境が、2016年3月卒業生（現在大学3年生）から大きく変わります。政府から経済3団体（経団連、経済同友会、日本商工会議所）に要請し、広報活動の開始時期を3年生3月（4年生になる直前の春休み）に、また、採用選考活動の開始時期が4年生の8月となりました。

「就職活動の後ろ倒し」といわれていますが、言い換えると「短期決戦」です。キャリア支援課では就職ガイダンスをはじめ、夏季インターンシップ、ウィンターインターンシップ、1dayインターンシップ、企業コンシップ、企業

就活

これまで2月に実施していた、学内合同企業説明会を「就活本番! NUIS学生・企業交流会」として2月4日（水）5日（木）13時30分から17時に開催します。また、学内合同企業説明会は4月11日（土）12日（日）13

2月に「就活本番! NUIS学生・企業交流会」

「学内合同企業説明会」は4月

訪問セミナー、産学交流カフェなどなど、就活生に対して盛りだくさんの企画案内をしておりま

育館で開催いたします。来年度に関しては広報活動、いわゆる採用に関する個人情報交換および求人情報は、倫理憲章により実施できない状況です。そこで事前に企業にアンケートを実施したところ、対応策

として合同業界セミナーとして実施との回答が90%以上の結果でした。就職関連のキャリアキュラムや各セミナーに関しては、従来通り実施し、業界研究を重視し2月の企業交流会を実施することで、就職活動に挑む気持ち

引き続いて4月には、本学で合同企業説明会を開催いたします。そこでは、自己を最大限にアピールできるように日程を企画しました。

と、その後の連動性を重視しました。この会はブース形式で時間を区切り、一斉に学生が移動いたします。そこでは学生の自己紹介タイムを含み、企業との交流を図り、業界理解を深めることにしています。3月に就職サイ

一般入試（前期・後期）で第2志願制を導入!!
この第2志願制を利用すると、第1志望の学部が合格にならなかった場合には第2志望の学部で合否判定を行います。

一般入試（前期）で学費給付奨学生を採用!!
一般入試（前期）の試験結果から、成績上位者に、年間授業料の半額を給付します。奨学金試験を受ける必要も、事前に申請する必要もありません。



企業懇談会

企業、団体の方々と本学教職員が情報交換する企業懇談会が11月19日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催されました。本年度は291社、395人の多くの関係者に参加いただきました。恒例の講演会には元ラグビー日本代表で現在、芦屋学園理事長の大八木淳史氏をお迎えしまし

291社が参加し情報交換



方大学と地元企業との関連の重要性和、学生へのいっそうの支援、指導を要請いたしました。講演会「真のリーダーの

就職状況を紹介し協力に感謝

条件とは「ラグビー校長の理論と実践」で大八木氏は、ラグビーとの出会いをユーモアを交えて話しながら、道筋を通せる人間、いわゆるリーダーシップを取った人間が、あらゆる組織体から期待されていると話されました。また、人生は邂逅。出会いを繰り返している。人生とは99%が邂逅であり、1%はミラクルや成功。生きていくことは人との出会いがあり、良いこと悪いこと、辛いことなども自分で体現し答えを出さなければならぬ。周囲のサポートを実践した人間は職

場活躍できる人材になると話されました。懇親会では星野元理事長が日ごろの就職活動における協力に対して感謝を述べ、小林満男就職指導委員長（情報システム学科教授）が現在の就職状況を説明し、企業との良好な関係にあらためて感謝し、さらなる採用についてお願いしました。来賓代表として、新潟市副市長で本学理事・評議員の若林孝様からご発声をいただいた開宴。大八木氏も同席され、本学卒業生の近況や本年度内定者について情報交換をしつつ懇親を深めました。

◎平成27年度 一般入試概要とポイント

※出願期間内消印有効。
※詳細は「平成27年度学生募集要項」または本学ウェブサイト(<http://www.nuis.ac.jp/>)でご確認ください。

募集学部 2学部2学科 情報文化学部 情報システム学科／国際学部 国際文化学科

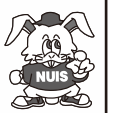
入試区分	募集人員	出願期間	試験日／試験場	試験実施教科・科目	合格者発表日	入学手続期間
前期	情報文化学部 情報システム学科 65	1月 5日(月) 1月23日(金)	2月 2日(月) 新潟 新潟 新潟	【国語】 国語総合(現代文)・現代文 【数学】 数学I・数学A 【外国語】 英語I・英語II	2月 6日(金)	2月 6日(金) 2月18日(火)
	国際学部 国際文化学科 35					
後期	情報文化学部 情報システム学科 10	2月25日(水) 3月10日(火)	3月16日(月) 新潟	上記3教科の中から 2教科以上を選択、3教科 受験した場合は高得点の 2教科を合否判定に使用	3月19日(木)	3月19日(木) 3月26日(木)
	国際学部 国際文化学科 10					
大学入試 センター試験 利用	情報文化学部 情報システム学科 10	1月26日(月) 2月12日(木)	平成27年1月 17日(土)、18日(日) 大学入試 センター試験を 受験していること	各学部の利用教科・科目の 中から2科目選択 3科目以上受験した場合は 高得点の2科目を 合否判定に使用	2月23日(月)	2月23日(月) 3月 5日(木)
	国際学部 国際文化学科 10					

入試のポイント

一般入試（前期・後期）で第2志願制を導入!!
この第2志願制を利用すると、第1志望の学部が合格にならなかった場合には第2志望の学部で合否判定を行います。

一般入試（前期）で学費給付奨学生を採用!!
一般入試（前期）の試験結果から、成績上位者に、年間授業料の半額を給付します。奨学金試験を受ける必要も、事前に申請する必要もありません。

給付額	給付対象
年間 授業料の 半額	情報文化学部 情報システム学科 5番以内 国際学部 国際文化学科 3番以内



ソウル大で客員研究員の1年

国際学部 国際文化学科・教授 申銀珠

韓国のソウル大学の奎章閣韓国学研究院・国際韓国学センターの客員研究員として一年間勉強させていただきまし

た。10、11月は、透き通った青空が広がるソウルの秋晴れに心が躍り、自分の国に惚れなおす不思議な感覚を覚えまし

た。紅葉の鮮やかな色も感動的でした。キャンパス内でも面白いイベントが絶えませんが、外に目を向けると、

街のいたるところで文学祭や音楽祭などが行われていて、街を歩きながら楽しみました。2002年ワールドカップのときから始まった街頭応援の文化が今やさまざまなジャンルにまで広がり、街角で



共に楽しむ独特な文化空間をつくり上げていくのです。韓国社会はサラダボール。今すでに日本人の割合が高い

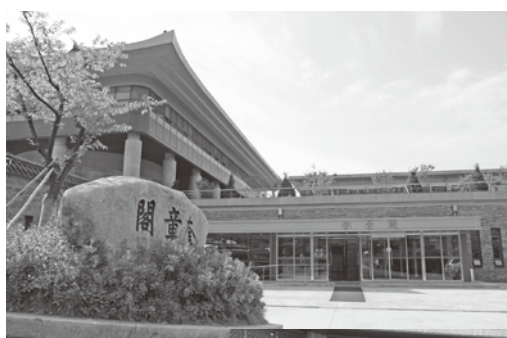
のですが、より開かれた多民族社会、多文化社会の実現に真剣に取り組んでいる様子を、ソウル市内や近郊に新しくできた外国人街、松島(ソンド)国際都市の発展ぶりを見て確認することができました。もちろんそこにはさまざまな困難や課題が山積してい

ますが、方向は間違っていないという国民の合意があるのですから、今後その成果は着

実には上がっていくだろうと思います。そういえば、ソウル大の演劇部の定期公演の舞台も『洗濯』というタイトルの、ソウルで生活する恵まれない境遇のモンゴル人の青年と韓国女性の友愛の物語でした。奎章閣では学期中はほぼ毎週、研究会や講演会が開かれ

「サラダボール」の母国を冷静に見て

「日本問題」とも真剣に向き合う



ますが、方向は間違っていないという国民の合意があるのですから、今後その成果は着

ました。歴史学、文学、社会学など多様な分野の専門的な話を聞くことができました。外国の大学にいる研究者を招聘している立場だからでしょうか、韓国式もてなしの交流会も頻繁に開いてくれました。おかげで多くの国からの研究者たちと楽しい雰囲気です。

研究と教育に携わっている以上、避けて通れない切実なテーマだということを、日本と韓国を照らし合わせながらあらためて実感しました。成均館大学国際シンポジウムでの研究発表、韓国外国語大学での特別講義、奎章閣での研究発表などで、自分の研究内容や考えをまとめることができました。これらの成果をこれからの授業や研究に積極的に生かしていきたいと思っています。そして韓国社会を冷静に見つめる姿勢を失わず自分の中の「日本問題」とも真剣に向き合っていきたいと思っています。

近山 英輔(情報文化学部 情報システム学科・准教授)

- ・(2014年) "Decomposition of multivariate function using the Heaviside step function", SpringerPlus 3, 704

ブラーソル アレクサンドル(国際学部 国際文化学科・教授)

- ・(2014年) Istoriya yaponskogo obrazovaniya, Palmarium Academic Publishing. (University of Lodz, Poland)
- ・(2014年) Expert. Yaponsky yazyk v modelyakh, Vostochnaya Kniga.

2)学会・研究会・講演等

石井 忠夫(情報文化学部 情報システム学科・准教授)

- ・(2014年7月2日～7月5日) "SCI for Pair-Sentence", Trends in Logic XIII (Studia Logica) (University of Lodz, Poland)

區 建英(国際学部 国際文化学科・教授)

- ・(2014年11月7日～11月8日) 「福祉論吉の自由における独立自尊と他者感覚」国際学術シンポジウム「東亜思想交流史」(台湾大学)

神長 英輔(国際学部 国際文化学科・准教授)

- ・(2014年10月15日～) "Рыбопромышленность в низовьях Амура и на северном Сахалине, оккупированных Японией в начале 1920-х годов", Международной научной конференции < Мировые конфликты: глобальное и региональное измерение > (к 100-летию начала I мировой войны) (Южно-Сахалинск, Россия)

上西園 武良(情報文化学部 情報システム学科・教授)

- ・(2014年11月1日～11月1日) 小柳孝裕 他「缶入りコーンポタージュの粒コーン飲み干しに関する研究」日本人間工学会東海支部研究大会(愛知工業大学)

小林 満男(情報文化学部 情報システム学科・教授)

- ・(2014年11月25日～11月26日) 「情報態度の学習成果に及ぼす影響」経営情報学会(新潟国際情報大学)

小林 元裕(国際学部 国際文化学科・教授)

- ・(2014年10月22日～11月5日) 小林元裕 他「東アジアと日本」かしわざき市民大学(市民プラザ)

小宮山 智志(情報文化学部 情報システム学科・准教授)

- ・(2014年11月25日～11月26日) 「情報態度の学習成果に及ぼす影響」経営情報学会(新潟国際情報大学)

佐々木 桐子(情報文化学部 情報システム学科・准教授)

- ・(2014年9月2日～9月4日) "Recovery of Japan's Automobile Industry after Natural Disasters", International Conference on Business & Information 2014 (Hawaii, USA)

近山 英輔(情報文化学部 情報システム学科・准教授)

- ・(2014年9月9日～9月11日) 中山超 他「代謝混合物のシグナル分離に有用な2D-J NMRデータの解析支援webツールの開発」第66回日本生物工学会大会(札幌)

3)委員・社会的活動・記事・その他

神長 英輔(国際学部 国際文化学科・准教授)

- ・(2014年11月3日) 第4回地域研究コンソーシアム賞・研究企画賞の受賞(谷垣真理子を代表とする「国際研究プロジェクト『華南研究の創出』」と書籍『変容する華南と華人ネットワークの現在』が受賞。神長は同プロジェクトの一部である科研費・基盤研究Bに2009年度から2011年度まで研究協力者・研究分担者として参加。上記著書にも共著者として参加)

小林 満男(情報文化学部 情報システム学科・教授)

- ・(2014年10月25日～26日) 経営情報学会2014年秋季全国研究発表大会 大会委員長
- ・(2014年11月4日) 新潟市水道事業経営審議会出席(新潟市)



心理学は、脳科学、情報科学、経営学、社会学など、さまざまな学問分野の影響のもと発展してきた学際的な学問領域です。本研究室の卒業研究のテーマも多岐にわたっています。これまでのテーマには、私たちがどんな時に情報を見落としやすいのか、記憶したものを想起しやすくなる

国際化が今後ますます進み、情報技術が進歩しても、人間が心の本質を理解したいという気持ちは変わらないでしょう。伊村研究室では、ヒトの心を心理学の視点から科学的に理解することを目指しています。ヒトがどのように世界を知覚、認識しているのか。チンパンジーの知覚、認識の仕方はヒトと比べてどう違うのか。言葉を話す以前の赤ちゃんは、どのようにして世界を知覚、認識しているのか。私自身これらを実証的に調べることで、人間同士が年齢や性別、言語、文化を超えて情報を共有する仕組みについて考えてきました。



ヒトの心を心理学の視点から科学的に理解

にはどうしたらよいのか、対人印象に影響を与える視覚的な要因とは何か、食物の味や食欲に影響を与える食器やパッケージの配色や宣伝文句とはどんなものか、ストレスを緩和するための効果的な方法とは何かなど。学生自身が日常生活の中で自分なりの疑問を見つけ、解決する方法を考えてほしいと思っています。

卒業研究では、それぞれのテーマについて実験や調査を実際に行い、自ら収集したデータを、統計的手法を用いて解析することが条件となっています。個人差が大きく、移ろいやすい人間の心を、科学的、客観的に分析するためには、統計学の知識と技術が必要になります。

本学学生を対象に、モニター画面上に色のついた記号を1つずつ見せた後、それらの「色」または「形」を順番に答えてもらう記憶課題を行いました。記号の数を2個から5個まで変化させることで、記憶できる記号の数、つまり記憶容量が色または形を答える場合で違うのかどうかを比較しました。その結果、色よりも形を答える場合の方が、記号の個数が増加しても正確に答えられることが分かりました。

私たちは身の周りの情報を五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）で得ています。その中で視覚の占める割合は最も高く、たとえば日常生活で出来事を記憶する際には色・形・動きなどのさまざまな視覚情報が活用されています。このような視覚情報の種類の違いによって記憶容量に違いがあるのではないかと考えました。

視覚情報と記憶容量の
関係を実験で確かめる

4年・石附誠士郎

ゼミ生の卒業研究テーマ

社会インフラとしての情報システムを再考



大会スタッフ一同

経営情報学会の秋季全国研究発表大会が10月25、26日の2日間、本学新潟中央キャンパスで開催されました。経営情報学会は、情報やコミュニケーションと経営の接点に関心を持つ約1100人の研究者、実務家などで構成されています。

情報システムは、私たちの暮らしや企業活動に必要な電気、ガス、水道、電話、道路、橋梁、港湾などの施設、学校、病院などの社会インフラを支える重要な役割を果たしています。しかし利用者からは情報システムが私たちの生活や企業活動にどのように貢献しているのか、ますます見えにくくなっています。

「経営情報学会」全国研究発表大会
新潟中央キャンパスで開催

10/25・26

全国から研究者・実務家 77件の発表・報告

なっています。そこで本大会では「再考」社会インフラとしての情報システム@柳都、新潟」をテーマとしました。

大会では、一般セッション、研究部会セッションおよびポスターセッションなど全部で77件の発表・報告があり、社会インフラにおける情報と情報システムの利用などを中心に活発な議論が交わされました。

基調講演は(株)オピニオン代表取締役社長の確井誠氏から「流通・小売業の変化対応と事業インフラ革新」というテーマで、また特別講演は(株)キタックを創業された中山輝也社長から「技術者として起業して」と題してお話いただきました。両講演とも市民にも公開され好評でした。

また大会では、社会インフラにおける情報システムの活用事例として、新潟市水道局から水道管路情報システムの展示、デモがあり、おいしい新潟の水道をバックした「柳都物語」が大会参加者にプレゼントされました。

(情報システム学科 教授 小林 満男)

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

安藤 潤(国際学部 国際文化学科・准教授)

・(2014年) 安藤 潤 他『少子・高齢化と日本経済』文真堂 (54-72頁)

神長 英輔(国際学部 国際文化学科・准教授)

・(2014年)「コンパから見るサハリン島の歴史」『Arctic Circle』北海道立北方民族博物館友の会・季刊誌91号 (4-9頁)

小林 満男(情報文化学部 情報システム学科・教授)

・(2014年) M.Tanaka, H.Sakamoto, M.Kobayashi & Y.Kitayama, "Estimation of Unwanted Spurious Domain Emissions From a Multicarrier Transmitter", IEEE Transaction on AEROSPACE AND ELECTRONIC SYSTEMS, Vol. 50, No.3, 2293-2303

小林 元裕(国際学部 国際文化学科・教授)

・(2014年)「中日戦争爆発と天津の日本居留民」抗日戦争研究 92(41791), 91-101

卒業生の便り

私は今、アフリカ南部にある小さな国、そして最貧国の一つであるといわれているマラウイで、青年海外協力隊として活動しています。

私の活動は初等学校における表現芸術

(音楽、ダンス

など)分野の授

業の質の向上に

向けて、担当地

域の11の小学校を巡回し、マラウイ人教師の授業に協力したり、先生を対象にしたワークショップを開いたり、実際に教師として子供たちに授業をしたりしています。

ここでの生活は、みんなと一緒に生活している感じ。大人も子供も、男性も女性も、障害のある子もない子も、外国人もマラウイ人も、人間も動物も虫も。と

しかし、たびたび話に出てくるのは、やはり貧困のこと。「私たちの国は貧しいから」「お金がないから」という言葉を良く聞きます。貧困を理由に学ぶことを諦めなくてはならない子どももたくさんいます。

私はどんな貢献ができるのだろう。まだ答えは見つかっていませんが、表現芸術を通して表現することや、思考・創作

にかくみんなの距離が近い。大きな家族という感じ。

家の周りを歩いていると「アイコ・アイコ・ボー」(現地語のカジュアルなあいさつ)と子どもたちが駆け寄って来たり、隣人がほぼ毎日家にやってきて話したり、歌を歌ったり…。みんな親切で、すっかりこの地域を好きになりました。

する楽しさを伝えることはできると思いますが。彼らの生活がより楽しく豊かなものになるように、少しずつ自分のできることを見つけ2年間頑張って活動していきたいです。(JICA在籍)

最貧国マラウイで2年間活動

表現芸術を通して生活を豊かに



芥川賞作家・藤沢周さんを招き特別授業



独自の洞察力と高い感受性

本学の近く西区内野ご出身の作家、藤沢周さんを招き11月6日、情報文化学部1年生を対象に特別授業を開きました。1998年「ブエノスアイレス午前零時」で芥川賞を受賞され、現在は法政大学経済学部教授としても活躍されています。

作家への道を選んだ経緯を通して、藤沢さんの独自の洞察力というか感受性の高さを認識したひと時でした。

まず、「とすか(TOCCA)」についてのお話がありました。

「とすか」とは言語以前の位相、言

い換えれば「動かされるもの」といったことだそうです。内野の雪景色を見て「なんて美しい世界なんだろう」と思うなかで、突然、落ち込んだ気持ちになる。これは一体どういうことなんだろう?と思ったことがきっかけで、人間の心の中に内在する「とすか」にたどり着いたそうです。

「とすか」は魂の「とすか」、恋愛の「とすか」など、心の中に存在するもの。文学・芸術には「とすか」と深い関係があるとも言及されました。

通常、作家になる人は幼くして志すそうですが、藤沢さんは18歳の時に作家を志望されたそうです。豊富な語彙力を持つておられ、たくさん読んだ本が読んでもおられる。ヨーロッパやロシアの多くの作家の中で、とりわけリルケ、チェーホフを。また国内では直木賞作家の重松清さんとも友人だそうです。

大学1年生には、学生は社会人より多くの自由な時間が持てる。時間を大切に活用するようにとアドバイス。また、自分の興味あることに没頭しても良いのでは、と語りかけました。(情報文化学部長 白井健二)

時間を大切に興味あることに没頭をと助言

エクステンションセンター 開設10周年記念事業

よしもとばななさんを迎えトークライブ



小説「キッチン」でデビュー、世界的な人気作家よしもとばななさんを迎えるトークライブ「真心のありか」が11月3日、本学エクステンションセンター開設10周年記念事業として新潟中央キャンパスで開かれました。よしもとさんら人気作家の編集者で西区内野出身の幻冬舎専務・石原正康さんと対談、人生、家族、旅、仕事など多様なテーマで本音を語る「ばななワールド」に市民ら約200人が聞き入りしました。

よしもとさんは、デビュー作について「バブルで日本中が浮足立っていた時代。こんな時代早く終わってほしい」と思っていた私と同じように、どこか取り残された気持ちを抱えた人たちの心に響いたのだと思う」と、当時の心境を語りました。子供のころから文章を書くのが得意で友達からお金をもらって読書感想文を書いたこと、また、キウイだけびっしり詰めた弁当を作ってくれた父のことなど、風変わりな吉本家の逸話を披露して会場は笑いの渦に包まれました。

最後に、若い人たちに「じっくり自分と向き合い、他人のことや周囲にと

これからは生きていくために、自分が何者で、何を求めているのかを

考えることが大事」と

メッセージを送りました。

若い人にメッセージ

じっくり自分と向き合って

若い人にメッセージ

若い人にメッセージ

若い人にメッセージ

若い人にメッセージ

若い人にメッセージ